資料1-2

健康いわて21プラン（第2次）目標項目の個別評価調書

全体目標

全体目標					
1	健康寿命の延伸（平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加）【男性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 厚生労働省「都道府県別生命表」、岩手県統計年鑑等
㉞	(健康寿命の増加分)/(平均寿命の増加分)>1	男性 (A2-A1) /(a2-a1)	㉒		㉕ 1.14
到達度	健康寿命の増加>平均寿命の増加		評価		A
評価に係るコメント	本県男性の平均寿命は、平成25年（79.63歳）で基準年（78.53歳）から1.10歳延伸しています。同じく健康寿命は、平成25年（70.68歳）で基準年（69.43歳）から1.25歳延伸しており、平均寿命の延伸（1.10歳）を上回っています。				
今後の課題	健康寿命が、平均寿命に一層近づくよう、健康いわて21プランの各分野における目標項目の達成に向けた取組を強化する必要があります。				

全体目標					
1	健康寿命の延伸（平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加）【女性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 厚生労働省「都道府県別生命表」、岩手県統計年鑑等
㉞	(健康寿命の増加分)/(平均寿命の増加分)>1	女性 (B2-B1) /(b2-b1)	㉒		㉕ 0.69
到達度	健康寿命の増加≦平均寿命の増加		評価		D
評価に係るコメント	本県女性の平均寿命は、平成25年（87.62歳）で基準年（85.86歳）から1.76歳延伸しています。一方、健康寿命は平成25年（74.46歳）で基準年（73.25歳）から1.21歳しか延伸しておらず、平均寿命の延伸（1.76歳）を下回っています。				
今後の課題	健康寿命が、平均寿命に一層近づくよう、健康いわて21プランの各分野における目標項目の達成に向けた取組を強化する必要があります。				

全体目標					
2	脳卒中死亡率全国ワースト１からの脱却①脳血管疾患年齢調整死亡率の都道府県順位（位）【男性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 厚生労働省「人口動態統計特殊報告」
㉞	全国ワースト１からの脱却	男性	㉒	全国ワースト１	㉗ 全国ワースト３
到達度	全国ワースト１から脱却		評価		A
評価に係るコメント	平成27年の脳血管疾患の都道府県別年齢調整死亡率（中間実績値）は「全国ワースト３位」となっており、「全国ワースト１」からの脱却という目標を達成しています。				
今後の課題	健康いわて21プランの各分野における目標項目の達成に向けた取組を強化するとともに、企業の「健康経営」の取組推進等による若年者層の脳卒中予防対策を強化する必要があります。				

全体目標						
2	脳卒中死亡率全国ワースト１からの脱却①脳血管疾患年齢調整死亡率の都道府県順位（位）【女性】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 厚生労働省「人口動態統計特殊報告」	
㉞	全国ワースト１からの脱却	女性	㉒	全国ワースト１	㉗	全国ワースト１
到達度	全国ワースト１		評価	D		
評価に係るコメント	平成27年の脳血管疾患の都道府県別年齢調整死亡率（中間実績値）は、「全国ワースト１位」となっており、「全国ワースト１」からの脱却という目標を達成することができませんでした。					
今後の課題	健康いわて21プランの各分野における目標項目の達成に向けた取組を強化するとともに、企業の「健康経営」の取組推進等による若年者層の脳卒中予防対策を強化する必要があります。					

全体目標						
2	脳卒中死亡率全国ワースト１からの脱却②脳血管疾患年齢調整死亡率の全国との格差の縮小（ポイント）【男性】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 厚生労働省「人口動態統計特殊報告」	
㉞	20.6より小さい	男性	㉒	20.6	㉗	14.0
到達度	全国との格差縮小		評価	A		
評価に係るコメント	中間実績値（14.0）は、基準値（20.6より小さい）から6.6ポイント減少しており、全国との格差は縮小しています。					
今後の課題	健康いわて21プランの各分野における目標項目の達成に向けた取組を強化するとともに、企業の「健康経営」の取組推進等による若年者層の脳卒中予防対策を強化する必要があります。					

全体目標						
2	脳卒中死亡率全国ワースト１からの脱却②脳血管疾患年齢調整死亡率の全国との格差の縮小（ポイント）【女性】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 厚生労働省「人口動態統計特殊報告」	
㉞	10.2より小さい	女性	㉒	10.2	㉗	8.3
到達度	全国との格差縮小		評価	A		
評価に係るコメント	中間実績値（8.3）は、基準値（10.2より小さい）から1.9ポイント減少しており、全国との格差は縮小しています。					
今後の課題	健康いわて21プランの各分野における目標項目の達成に向けた取組を強化するとともに、企業の「健康経営」の取組推進等による若年者層の脳卒中予防対策を強化する必要があります。					

がん

がん					
3	75歳未満のがん（全がん）の年齢調整死亡率の低下（人口10万対）				
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 人口動態統計による都道府県別がん死亡データ
㉙	72.8		㉓	85.7	㉗ 81.0
到達度	36.4		評価	C	
評価に係るコメント	中間実績値（81.0）は、基準値（85.7）から4.7低下しており、目標（72.8）に対する到達度は３割以上と目標を達成することはできませんでした。 人口動態統計から計算した全国と岩手県との年齢調整死亡率の差は、基準年である平成22年の3.9から、中間実績年である平成27年には2.9と、その差を縮めています。 なお、男性の中間実績値（101.0）は、基準値（116.3）から15.3低下しているものの、女性の中間実績値（62.9）は、基準値（61.2）から1.7悪化しています。				
今後の課題	がん分野における目標項目の達成に向けた取組を強化する必要があります。 ※岩手県がん対策推進計画を踏まえて目標を再設定します。				

がん					
4	がん検診受診率の向上（%）【胃がん】				
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 国民生活基礎調査
㉘	50.0	胃がん	㉒	36.1	㉕ 40.7
到達度	33.1		評価	C	
評価に係るコメント	中間実績値（40.7%）は、基準値（36.1%）から4.6ポイント増加し、目標値（50.0%）に対する到達度は３割と目標を達成することはできませんでした。				
今後の課題	胃がんは、早期発見により助かる確率が高いがんであることから、がん検診の重要性の普及啓発を強化するとともに、受診しやすい環境の整備を進める必要があります。 ※岩手県がん対策推進計画を踏まえて目標を再設定します。				

がん					
4	がん検診受診率の向上（%）【肺がん】				
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 国民生活基礎調査
㉘	50.0	肺がん	㉒	31.5	㉕ 49.0
到達度	94.6		評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値（49.0%）は、基準値（31.5%）から17.5ポイント増加し、目標値（50.0%）に対する到達度は９割以上ですが、僅かに目標を達成することはできませんでした。				
今後の課題	がん検診の重要性の普及啓発を強化するとともに、受診しやすい環境の整備を進める必要があります。 ※岩手県がん対策推進計画を踏まえて目標を再設定します。				

がん						
4	がん検診受診率の向上（%）【大腸がん】					
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 国民生活基礎調査	
㉘	50.0	大腸がん	㉒	31.1	㉕	41.3
到達度	54.0		評価		B	
評価に係るコメント	中間実績値（41.3%）は、基準値（31.1%）から10.2ポイント増加し、目標値（50.0%）に対する到達度は５割以上ですが、目標を達成することはできませんでした。					
今後の課題	大腸がんは、早期発見により助かる確率が高いがんであることから、がん検診の重要性の普及啓発を強化するとともに、受診しやすい環境の整備を進める必要があります。 ※岩手県がん対策推進計画を踏まえて目標を再設定します。					

がん						
4	がん検診受診率の向上（%）【子宮（頸）がん】					
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 国民生活基礎調査	
㉘	50.0	子宮(頸)がん	㉒	25.6	㉕	29.5
到達度	16.0		評価		C	
評価に係るコメント	中間実績値（29.5%）は、基準値（25.6%）から3.9ポイント増加し、目標値（50.0%）に対する到達度は１割台と目標を達成することはできませんでした。					
今後の課題	がん検診の重要性の普及啓発を強化するとともに、受診しやすい環境の整備を進める必要があります。 ※岩手県がん対策推進計画を踏まえて目標を再設定します。					

がん						
4	がん検診受診率の向上（%）【乳がん】					
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 国民生活基礎調査	
㉘	50.0	乳がん	㉒	26.0	㉕	29.7
到達度	15.4		評価		C	
評価に係るコメント	中間実績値（29.7%）は、基準値（26.0%）から3.7ポイント増加し、目標値（50.0%）に対する到達度は１割台と目標を達成することはできませんでした。					
今後の課題	がん検診の重要性の普及啓発を強化するとともに、受診しやすい環境の整備を進める必要があります。 ※岩手県がん対策推進計画を踏まえて目標を再設定します。					

がん						
5	精密検査受診率の向上（%）【胃がん】					
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 地域保健・健康増進事業報告	
㉘	90.0	胃がん	㉒	87.0	㉕	89.3
到達度	76.7		評価		B	
評価に係るコメント	中間実績値（89.3%）は、基準値（87.0%）から2.3ポイント増加し、目標値（90.0%）に対する到達度は７割以上ですが、目標を達成することはできませんでした。					
今後の課題	精密検査の未受診者を対象とする普及啓発や受診勧奨などの受診率向上施策を強化する必要があります。 ※岩手県がん対策推進計画を踏まえて目標を再設定します。					

がん					
5	精密検査受診率の向上（%）【肺がん】				
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 地域保健・健康増進事業報告
㉘	90.0	肺がん	㉒	88.8	㉕ 89.6
到達度	66.7		評価		B
評価に係るコメント	中間実績値（89.6%）は、基準値（88.8%）から0.8ポイント増加し、目標値（90.0%）に対する到達度は6割以上ですが、目標を達成することはできませんでした。				
今後の課題	精密検査の未受診者を対象とする普及啓発や受診勧奨などの受診率向上施策を強化する必要があります。 ※岩手県がん対策推進計画を踏まえて目標を再設定します。				

がん					
5	精密検査受診率の向上（%）【大腸がん】				
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 地域保健・健康増進事業報告
㉘	90.0	大腸がん	㉒	81.8	㉕ 82.7
到達度	11.0		評価		C
評価に係るコメント	中間実績値（82.7%）は、基準値（81.8%）から0.9ポイント増加し、目標値（90.0%）に対する到達度は1割と目標を達成することはできませんでした。				
今後の課題	精密検査の未受診者を対象とする普及啓発や受診勧奨などの受診率向上施策を強化する必要があります。 ※岩手県がん対策推進計画を踏まえて目標を再設定します。				

がん					
5	精密検査受診率の向上（%）【子宮（頸）がん】				
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 地域保健・健康増進事業報告
㉘	90.0	子宮(頸)がん	㉒	85.4	㉕ 85.4
到達度	0.0		評価		D
評価に係るコメント	中間実績値（85.4%）は、基準値（85.4%）と同率で停滞しており、目標を達成することができませんでした。				
今後の課題	精密検査の未受診者を対象とする普及啓発や受診勧奨などの受診率向上施策を強化する必要があります。 ※岩手県がん対策推進計画を踏まえて目標を再設定します。				

がん					
5	精密検査受診率の向上（%）【乳がん】				
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 地域保健・健康増進事業報告
㉘	90.0	乳がん	㉒	87.8	㉕ 94.4
到達度	300.0		評価		A
評価に係るコメント	中間実績値（94.4%）は、基準値（87.8%）から6.6ポイント増加し、目標値（90.0%）を大きく上回って目標を達成することができました。				
今後の課題	精密検査の未受診者を対象とする普及啓発や受診勧奨などの受診率向上施策を強化する必要があります。 ※岩手県がん対策推進計画を踏まえて目標を再設定します。				

脳血管疾患・心疾患

脳血管疾患・心疾患					
6	脳血管疾患の年齢調整死亡率の低下（人口10万対）【男性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 厚生労働省「人口動態統計特殊報告」
㉞	59.0	男性	㉒	70.1	㉗ 51.8
到達度	164.9		評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（51.8）は、基準値（70.1）から18.3低下しており、すでに目標値（59.0）を大きく下回っています。 また、人口動態統計から計算した全国と岩手県との年齢調整死亡率の差は、基準年である平成22年の22.9から、中間実績年である平成27年には14.0と、その差を大きく縮めており、順調に改善しています。				
今後の課題	本県では、65歳未満からすでに脳血管疾患による年齢調整死亡率が全国よりも高いことから、企業の「健康経営」の取組推進等による若年者層の脳卒中予防対策を強化する必要があります。				

脳血管疾患・心疾患					
6	脳血管疾患の年齢調整死亡率の低下（人口10万対）【女性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 厚生労働省「人口動態統計特殊報告」
㉞	34.0	女性	㉒	37.1	㉗ 29.3
到達度	251.6		評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（29.3）は、基準値（37.1）から7.8低下しており、すでに目標値（34.0）を大きく下回っています。 また、人口動態統計から計算した全国と岩手県との年齢調整死亡率の差は、基準年である平成22年の12.0から、中間実績年である平成27年には8.3と、その差を大きく縮めており、順調に改善しています。				
今後の課題	本県では、65歳未満からすでに脳血管疾患による年齢調整死亡率が全国よりも高いことから、企業の「健康経営」の取組推進等による若年者層の脳卒中予防対策を強化する必要があります。				

脳血管疾患・心疾患					
7	心疾患の年齢調整死亡率の低下（人口10万対）【男性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 厚生労働省「人口動態統計特殊報告」
㉞	74.4	男性	㉒	86.2	㉗ 80.5
到達度	48.3		評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値（80.5）は、基準値（86.2）から5.7低下しており、目標値（74.4）に対する到達度は約５割と順調に改善しています。 ただし、人口動態統計から計算した全国と岩手県との年齢調整死亡率の差は、基準年である平成22年の12.0から、中間実績年である平成27年には15.0と、その差が広がっており、今後の推移に注意する必要があります。				
今後の課題	脳血管疾患同様、心疾患も、65歳未満からすでに年齢調整死亡率が全国よりも高いことから、企業の「健康経営」の取組推進等による若年者層の生活習慣病予防対策を強化する必要があります。				

脳血管疾患・心疾患					
7	心疾患の年齢調整死亡率の低下（人口10万対）【女性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 厚生労働省「人口動態統計特殊報告」
㉞	38.5	女性	㉒	43.0	㉗ 37.9
到達度	113.3		評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（37.9）は、基準値（43.0）から5.1低下しており、すでに目標値(38.5）を0.6下回っています。 ただし、人口動態統計から計算した全国と岩手県との年齢調整死亡率の差は、基準年である平成22年の3.3から、中間実績年である平成27年には3.7と、その差が僅かに広がっており、今後の推移に注意する必要があります。				
今後の課題	脳血管疾患同様、心疾患も、65歳未満からすでに年齢調整死亡率が全国よりも高いことから、企業の「健康経営」の取組推進等による若年者層の生活習慣病予防対策を強化する必要があります。				

脳血管疾患・心疾患					
8	収縮期血圧の平均値の低下（mmHg）【男性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（身体状況調査）
㉞	134	男性	㉔	138	㉘ 137
到達度	22.5		評価		C
評価に係るコメント	中間実績値（137mmHg）は、基準値（138mmHg）から1mmHg低下しているものの、目標値(134mmHg）に対する到達度は２割とやや改善しています。 ＜参考＞ 中間実績値（137mmHg）を平成28年の性・人口構成で補正した値は133mmHgとなっています。				
今後の課題	血圧は、加齢とともに徐々に上昇する傾向がある中、測定の機会は健診時のみという住民が少なくありません。特に、家庭血圧が重要視される中、家庭血圧の推奨を進めるとともに、血圧高値者への受診勧奨による血圧の適正化、血圧と密接な関係がある減塩対策等の一層の強化を進める必要があります。				

脳血管疾患・心疾患					
8	収縮期血圧の平均値の低下（mmHg）【女性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（身体状況調査）
㉞	131	女性	㉔	135	㉘ 132
到達度	65.0		評価		A
評価に係るコメント	中間実績値（132mmHg）は、基準値（135mmHg）から3mmHg低下しており、目標値(131mmHg）に対する到達度は６割以上と順調に改善しています。 ＜参考＞ 中間実績値（132mmHg）を平成28年の性・人口構成で補正した値は128mmHgとなっています。				
今後の課題	血圧は、加齢とともに徐々に上昇する傾向がある中、測定の機会は健診時のみという住民が少なくありません。特に、家庭血圧が重要視される中、家庭血圧の推奨を進めるとともに、血圧高値者への受診勧奨による血圧の適正化、血圧と密接な関係がある減塩対策等の一層の強化を進める必要があります。				

脳血管疾患・心疾患					
9	ＬＤＬコレステロールが160mg/dl以上の者の割合の低下(%)【男性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 いわて健康データウエアハウス
㉞	5.6	男性	㉓	7.4	㉖ 8.6
到達度	▲ 66.7		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（8.6%）は、基準値（7.4%）から1.2ポイント増加しており、目標値（5.6%）に対する到達度は６割以上のマイナスと大きく後退しています。 ＜参考＞ 基準値(7.4%)を平成23年の性・人口構成で補正した値は8.3%、また、中間値(8.6%)を平成26年の性・人口構成で補正した値は9.9%(平成23年の性・人口構成で補正した値は9.9%）と1.6ポイント増加しており、大きく後退しています。				
今後の課題	特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上により、対象者の早期発見と指導強化を図るとともに、食生活改善や運動及び日常の生活活動量の増加のための環境整備を進める必要があります。				

脳血管疾患・心疾患					
9	ＬＤＬコレステロールが160mg/dl以上の者の割合の低下(%)【女性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 いわて健康データウエアハウス
㉞	7.6	女性	㉓	10.1	㉖ 11.4
到達度	▲ 52.0		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（11.4%）は、基準値（10.1%）から1.3ポイント増加しており、目標値(7.6%）に対する到達度は５割のマイナスと大きく後退しています。 ＜参考＞ 基準値(10.1%)を平成23年の性・人口構成で補正した値は10.6%、また、中間値(11.4%)を平成26年の性・人口構成で補正した値は11.3%(平成23年の性・人口構成で補正した値は11.4%）と0.7ポイント増加しており、大きく後退しています。				
今後の課題	特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上により、対象者の早期発見と指導強化を図るとともに、食生活改善や運動及び日常の生活活動量の増加のための環境整備を進める必要があります。				

脳血管疾患・心疾患					
10	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少(千人)				
目標値		区分	基準値	実績値　※H29評価 いわて健康データウエアハウス	
㉙	H23比25%減　124		㉓　166	㉖	158
到達度	19.0		評価	C	
評価に係るコメント	中間実績値（158千人）は、基準値（166千人）から8千人減少しましたが、目標値(124千人）に対する到達度は約２割と目標を達成することはできませんでした。				
今後の課題	特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上を図り、対象者の早期発見と指導の強化を図るとともに、食生活改善や運動及び日常の生活活動量の増加のための環境整備を進める必要があります。 ※岩手県医療費適正化計画を踏まえて目標を再設定します。				

脳血管疾患・心疾患					
11	特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の向上(%)【特定健康診査】				
目標値		区分	基準値	実績値　※H29評価 厚生労働省調べ	
㉙	70.0	特定健康診査	㉒　40.7	㉖	50.0
到達度	31.7		評価	C	
評価に係るコメント	中間実績値（50.0%）は、基準値（40.7%）から9.3ポイント増加しましたが、目標値(70.0%）に対する到達度は約３割と目標を達成することはできませんでした。				
今後の課題	特定健康診査受診の重要性についての啓発及び各医療保険者における効果的な健診体制の整備を進めるとともに、企業の「健康経営」の取組推進等による健診受診環境の整備を進める必要があります。 ※岩手県医療費適正化計画を踏まえて目標を再設定します。				

脳血管疾患・心疾患					
11	特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の向上(%)【特定保健指導】				
目標値		区分	基準値	実績値　※H29評価 厚生労働省調べ	
㉙	45.0	特定保健指導	㉒　17.4	㉖	15.9
到達度	▲ 5.4		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（15.9%）は、基準値（17.4%）から1.5ポイント低下して後退しており、目標を達成することはできませんでした。				
今後の課題	特定保健指導の重要性についての啓発及び各医療保険者における効果的な指導体制の整備を進めるとともに、企業の「健康経営」の取組推進等による保健指導受診環境の整備を進める必要があります。 ※岩手県医療費適正化計画を踏まえて目標を再設定します。				

糖尿病

糖尿病					
12	糖尿病有病者の増加の抑制(万人)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 いわて健康データウエアハウス
㉞	5.28		㉓	5.24	㉖ 5.43
到達度	目標限度数値を超過		評価	D	
評価に係るコメント	40～74歳の糖尿病有病者数（国保、組合健保及び共催組合の特定健康診査結果からの県内有病者数の推定）については、基準値である平成23年度の5.24万人から、平成24年度が5.29万人、平成25年度が5.32万人、平成26年度が5.43万人と少しずつ増加し、目標とした上限値（5.28万人）を超えて悪くなっています。				
今後の課題	特定健康診査及び特定保健指導の実施率向上、特定保健指導の充実強化のほか、食生活改善や身体活動量増加のための健康づくりに係る普及啓発と環境整備を進める必要があります。				

糖尿病					
13	治療継続者の割合の向上(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査
㉞	75.0		㉔	65.5	㉘ 68.8
到達度	34.7		評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値(68.8%)は基準値(65.5%)から約3ポイント増加しており、目標値(75%)に対する到達度は約35%と改善しています。 〈参考〉 基準値を平成24年の性・人口構成に補正した値は65.8%、また、中間実績値を平成28年の性・人口構成に補正した値は68.3%（平成24年の性・人口構成に補正した値は67.6%）と2.5ポイント増加し、改善しています。				
今後の課題	特定健康診査の事後措置の強化、治療未受診者及び治療中断者への受診勧奨、市町村・保険者と医療機関との連携等を進める必要があります。				

糖尿病					
14	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少(人)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 わが国の慢性透析療法の現況
㉞	133			144(H20/21/22の3ヶ年平均)	130(H25/26/27の3ヶ年平均)
到達度	127.3		評価	A	
評価に係るコメント	基準値の144人（H20/21/22の3ヶ年平均）から、翌年度は151人（H21/22/23の3ヶ年平均）と増加したものの、以降は146人（H22/23/24の3ヶ年平均）、146人（H23/24/25の3ヶ年平均）、137人（H24/25/26の3ヶ年平均）、130人（H25/26/27の3ヶ年平均）と徐々に減少し、目標値である133人よりも低くなるほど順調に改善しています。				
今後の課題	高齢者の人口増加により糖尿病患者数の増加も見込まれることから、新たに糖尿病性腎症重症化予防による取組を推進し、新規透析導入患者数を減少させる必要があります。				

COPD

COPD					
15	COPDの認知度の向上(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)
㉞	80.0		㉔	37.7	㉘ 48.8
到達度	26.2		評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値（48.8%）は、基準値（37.7%）から11.1ポイント向上しており、目標値(80.0%）に対する到達度は25%を超えて改善しています。 <参考> 中間実績値（48.8）を平成28年の性・人口構成で補正した値は46.9%となっています。				
今後の課題	喫煙対策等を通じ、引き続きCOPDに関する普及啓発を強化する必要があります。				

栄養・食生活

栄養・食生活					
16	適正体重を維持している者の増加(肥満(ＢＭＩ25以上)、やせ(ＢＭＩ18未満)の減少) 【肥満者の割合(%)　20歳～60歳代・男性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（身体状況調査）
㉞	30.0	肥満者の割合(%) 【20歳～60歳代男性】	㉔	32.7	㉘ 40.0
到達度	▲ 270.4		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（40.0%）は、基準値（32.7%）から7.3ポイント増加しており、目標値(30.0%）に対しマイナスと大きく後退しています。 ＜参考＞ 中間実績値（40.0%）を平成28年の性・人口構成で補正した値は38.7%となっています。				
今後の課題	学校と連携した学齢期からの肥満予防の強化とともに、企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりの推進、食生活改善や運動及び日常の生活活動量の増加のための環境整備を進める必要があります。				

栄養・食生活					
16	適正体重を維持している者の増加(肥満(ＢＭＩ25以上)、やせ(ＢＭＩ18未満)の減少) 【肥満者の割合(%)　20歳～60歳代・女性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（身体状況調査）
㉞	26.0	肥満者の割合(%) 【40歳～60歳代・女性】	㉔	27.2	㉘ 26.2
到達度	83.3		評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（26.2%）は、基準値（27.2%）から1.0ポイント減少しており、目標値(26.0%）に対する到達度は８割と順調に改善しています。 ＜参考＞ 中間実績値（26.2%）を平成28年の性・人口構成で補正した値は26.2%で同じ数値となっています。				
今後の課題	企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりを進めるとともに、食生活改善や運動及び日常の生活活動量の増加のための環境整備を進める必要があります。				

栄養・食生活						
17	適正体重を維持している者の増加(肥満(ＢＭＩ25以上)、やせ(ＢＭＩ18未満)の減少)【やせの者の割合(%)　20歳代・女性】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 岩手県予防医学協会事業所検診結果	
㉞	12.0	やせの者の割合(%)【20歳代・女性】	㉔	18.0	㉗	17.5
到達度	8.3		評価	C		
評価に係るコメント	中間実績値（17.5%）は、基準値（18.0%）から0.5ポイントしか減少しておらず、目標値(12.0%）に対して僅かしか改善していない状況です。					
今後の課題	学校と連携した学齢期からの適正体重保持の重要性の啓発を進める必要があります。					

栄養・食生活						
18	適切な量と質の食事をとる者の増加【主食・主菜・副菜をほとんど毎日揃えて食べる者の割合】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)	
㉞	85.0	主食・主菜・副菜をほとんど毎日揃えて食べる者の割合	㉔	68.8	㉘	63.4
到達度	▲ 33.3		評価	D		
評価に係るコメント	中間実績値（63.4%）は、基準値（68.8%）から5.4ポイント減少しており、目標値(85.0%）に対する到達度は３割のマイナスと大きく後退しています。 ＜参考＞ 中間実績値（63.4%）を平成28年の性・人口構成で補正した値は58.5%となっています。					
今後の課題	望ましい食生活に関する知識の普及啓発を図るとともに、食生活改善に取り組みやすい環境を整備する必要があります。					

栄養・食生活					
19	適切な量と質の食事をとる者の増加【食塩摂取量の平均値(g)】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（栄養摂取状況調査）
㉞	8.0	食塩摂取量の平均値(g)	㉔	11.8	㉘ 10.0
到達度	47.4		評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値（10.0g）は、基準値（11.8g）から1.8g減少しており、目標値(8.0g)に対する到達度は約５割と改善しています。 ＜参考＞ 中間実績値（10.0g）を平成28年の性・人口構成で補正した値は9.9gとなっています。				
今後の課題	減塩に関する正しい知識の普及啓発を図るとともに、減塩に取り組みやすい環境を整備する必要があります。				

栄養・食生活					
20	適切な量と質の食事をとる者の増加【野菜摂取量の平均値(g)】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（栄養摂取状況調査）
㉞	350	野菜摂取量の平均値(g)	㉔	316	㉘ 296.0
到達度	▲ 58.8		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（296g）は、基準値（316g）から20g減少しており、目標値(350g）に対する到達度は５割以上のマイナスと大きく後退しています。 ＜参考＞ 中間実績値（296g）を平成28年の性・人口構成で補正した値は289.3gとなっています。				
今後の課題	１人１日あたり350g以上の野菜摂取の重要性の普及啓発を図るとともに、野菜摂取増に取り組みやすい環境を整備する必要があります。				

栄養・食生活						
21	適切な量と質の食事をとる者の増加【果物摂取量100ｇ未満の者の割合(%)】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（栄養摂取状況調査）	
㉞	30.0	果物摂取量100ｇ未満の者の割合(%)	㉔	60.6	㉘	58.1
到達度	8.2		評価	C		
評価に係るコメント	中間実績値（58.1%）は、基準値（60.6%）から2.5ポイントしか減少しておらず、目標値（30.0%）に対して僅かしか改善していない状況です。 ＜参考＞ 中間実績値（58.1%）を平成28年の性・人口構成で補正した値は60.7%となっています。					
今後の課題	１人１日あたり100gの果物摂取の重要性の普及啓発を図るとともに、果物摂取増に取り組みやすい環境を整備する必要があります。					

栄養・食生活						
22	家族等で食事を共にする機会の増加					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)	
㉞	75.0	毎日最低1食は家族や友人などと一緒に30分以上かけて食事をしている者の割合	㉔	65.3	㉘	60.2
到達度	▲ 52.6		評価	D		
評価に係るコメント	中間実績値（60.2%）は、基準値（65.3%）から5.1ポイント減少しており、目標値（75.0%）に対する到達度は５割のマイナスと大きく後退しています。 ＜参考＞ 中間実績値（60.2%）を平成28年の性・人口構成で補正した値は54.8%となっています。					
今後の課題	家族で食卓を囲む重要性の普及啓発を図るとともに、企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくり進める必要があります。					

栄養・食生活					
23	外食栄養成分表示登録店の増加(店舗)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 外食栄養成分表示登録店等推進事業
㉞	1,000		㉔	297	㉘ 425
到達度	18.2		評価	C	
評価に係るコメント	中間実績値（425店舗）は、基準値（297店舗）から128店舗増加していますが、目標値（1,000店舗）に対する到達度は約２割とやや改善しています。				
今後の課題	加工食品の栄養成分表示の義務化の機会に乗じ、飲食店等における栄養成分表示への理解と協力を促進する必要があります。				

栄養・食生活					
24	特定給食施設における管理栄養士・栄養士の配置の増加（%）				
目標値		区分	基準値		中間実績値 厚衛生行政報告例
㉞	93.0		㉔	89.0	㉗ 92.1
到達度	77.5		評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（92.1%）は、基準値（89.0%）から3.1ポイント増加しており、目標値（93.0%）に対する到達度は約８割と順調に改善しています。				
今後の課題	特に管理栄養士・栄養士を未配置の施設の施設長等に対して、特定給食施設の役割についての認識を改めて促す必要があります。				

身体活動・運動

身体活動・運動						
25	日常生活における歩行数の増加(歩)【20歳～64歳・男性】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（栄養摂取状況調査）	
㉞	8,800	20歳～64歳男性	㉔	6,951	㉘	6,521
到達度	▲ 23.3		評価	D		
評価に係るコメント	中間実績値（6,521歩）は、基準値（6,951歩）から430歩減少しており、目標値（8,800歩）に対する到達度は２割のマイナスと後退しています。 <参考> 中間実績値（6,521歩）を平成28年の性・人口構成で補正した値は6,649歩となっています。					
今後の課題	運動の重要性についての啓発強化、日常生活における活動量増加のための環境整備、さらには、企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりを進める必要があります。					

身体活動・運動						
25	日常生活における歩行数の増加(歩)【20歳～64歳・女性】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（栄養摂取状況調査）	
㉞	8,200	20歳～64歳女性	㉔	6,449	㉘	6,502
到達度	3.0		評価	C		
評価に係るコメント	中間実績値（6,502歩）は、基準値（6,449歩）から53歩しか増加しておらず、目標値（8,200歩）に対して僅かしか改善していない状況です。 <参考> 中間実績値（6,502歩）を平成28年の性・人口構成で補正した値は6,102歩となっています。					
今後の課題	運動の重要性についての啓発強化、日常生活における活動量増加のための環境整備、さらには、企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりを進める必要があります。					

身体活動・運動					
25	日常生活における歩行数の増加(歩)【65歳以上・男性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（栄養摂取状況調査）
㉞	7,000	65歳以上男性	㉔	5,177	㉘ 4,566
到達度	▲ 33.5		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（4,566歩）は、基準値（5,177歩）から611歩減少しており、目標値（7,000歩）に対する到達度は３割のマイナスと大きく後退しています。				
今後の課題	認知機能や運動器機能等の生活機能の保持・増進のために歩行数の増加が有効であることから、運動の重要性についての啓発強化、日常生活における活動量増加のための環境整備を進める必要があります。				

身体活動・運動					
25	日常生活における歩行数の増加(歩)【65歳以上・女性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（栄養摂取状況調査）
㉞	5,700	65歳以上女性	㉔	3,901	㉘ 4,351
到達度	25.0		評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値（4,351歩）は、基準値（3,901歩）から450歩増加しており、目標値（5,700歩）に対する到達度は25%と改善しています。				
今後の課題	認知機能や運動器機能等の生活機能の保持・増進のために歩行数の増加が有効であることから、運動の重要性についての啓発強化、日常生活における活動量増加のための環境整備を進める必要があります。				

身体活動・運動					
26	運動習慣割合の増加(%)【20歳～64歳・総数】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（身体状況調査）
㉞	24.0	20歳～64歳総数	㉔	18.9	㉘ 27.7
到達度	172.5		評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（27.7%）は、基準値（18.9%）から8.8ポイント増加しており、すでに目標値（24.0%）を大きく上回っています。 ＜参考＞ 中間実績値（27.7%）を平成28年の性・人口構成で補正した値は25.3%となっています。				
今後の課題	運動の重要性についての啓発強化、日常生活における活動量増加のための環境整備、さらには、企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりを進める必要があります。				

身体活動・運動					
26	運動習慣割合の増加(%)【20歳～64歳・男性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（身体状況調査）
㉞	38.0	20歳～64歳男性	㉔	27.4	㉘ 30.0
到達度	24.5		評価		C
評価に係るコメント	中間実績値（30.0%）は、基準値（27.4%）から2.6ポイント増加しており、目標値（38.0%）に対する到達度は２割以上とやや改善しています。 ＜参考＞ 中間実績値（30.0%）を平成28年の性・人口構成で補正した値は28.1%となっています。				
今後の課題	運動の重要性についての啓発強化、日常生活における活動量増加のための環境整備、さらには、企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりを進める必要があります。				

身体活動・運動					
26	運動習慣割合の増加(%)【20歳～64歳・女性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（身体状況調査）
㉞	24.0	20歳～64歳女性	㉔	14.4	㉘ 25.9
到達度	119.8		評価		A
評価に係るコメント	中間実績値（25.9%）は、基準値（14.4%）から11.5ポイント増加しており、すでに目標値（24.0%）を上回っています。 ＜参考＞ 中間実績値（25.9%）を平成28年の性・人口構成で補正した値は22.4%となっています。				
今後の課題	運動の重要性についての啓発強化、日常生活における活動量増加のための環境整備、さらには、企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりを進める必要があります。				

身体活動・運動					
26	運動習慣割合の増加(%)【65歳以上・総数】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（身体状況調査）
㉞	46.0	65歳以上総数	㉔	35.6	㉘ 55.1
到達度	187.5		評価		A
評価に係るコメント	中間実績値（55.1%）は、基準値（35.6%）から19.5ポイント増加しており、すでに目標値（46.0%）を大きく上回っています。				
今後の課題	認知機能や運動器機能等の生活機能の保持・増進のため、運動の重要性についての啓発強化、日常生活における活動量増加のための環境整備を進める必要があります。				

身体活動・運動					
26	運動習慣割合の増加(%)【65歳以上・男性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（身体状況調査）
㉞	49.0	65歳以上男性	㉔	38.9	㉘ 60.7
到達度	215.8		評価		A
評価に係るコメント	中間実績値（60.7%）は、基準値（38.9%）から21.8ポイント増加しており、すでに目標値（49.0%）を大きく上回っています。				
今後の課題	認知機能や運動器機能等の生活機能の保持・増進のため、運動の重要性についての啓発強化、日常生活における活動量増加のための環境整備を進める必要があります。				

身体活動・運動					
26	運動習慣割合の増加(%)【65歳以上・女性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（身体状況調査）
㉞	43.0	65歳以上女性	㉔	33.3	㉘ 50.9
到達度	181.4		評価		A
評価に係るコメント	中間実績値（50.9%）は、基準値（33.3%）から17.6ポイント増加しており、すでに目標値（43.0%）を大きく上回っています。				
今後の課題	認知機能や運動器機能等の生活機能の保持・増進のため、運動の重要性についての啓発強化、日常生活における活動量増加のための環境整備を進める必要があります。				

身体活動・運動					
27	住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む自治体の増加				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県健康国保課調べ
㉞	33		㉔	12	㉘ 21
到達度	42.9		評価		B
評価に係るコメント	中間実績値（21自治体）は、基準値（12自治体）から９自治体増加しており、目標値（33自治体）に対する到達度は４割と改善しています。				
今後の課題	運動習慣の定着のためには、個人の努力に加え、自治体における環境整備を進める必要があります。				

休養

休養					
28	睡眠による休養が十分にとれていない者の割合の低下(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 国民健康栄養調査（生活習慣調査）
㉞	12.6		㉔	16.0	㉘ 21.6
到達度	▲ 155.9		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（21.6%）は、基準値（16.0%）から5.6ポイント増加しており、目標値（12.6%）に対する到達度はマイナスと大きく後退しています。 <参考> 中間実績値（21.6%）を平成28年の性・人口構成で補正した値は23.1%となっています。				
今後の課題	睡眠と休養の重要性についての啓発を強化するとともに、企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりを進める必要があります。				

休養					
29	月80時間超の時間外労働を行わせる雇用者の割合の低下(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 第12次岩手労働災害防止計画
㉞	H24比10%以上の減少			岩手労働局「第12次岩手労働災害防止計画による」	岩手労働局「第12次岩手労働災害防止計画による」
到達度	—		評価	—	
評価に係るコメント	※　中間実績値は、岩手労働局による公表が平成30年３月以降となる見込みです。				
今後の課題	長時間労働は、精神障害や脳・心疾患の発症との関連が指摘されてていることから、労働関係機関・団体等と連携した労働者のこころと身体の健康の保持増進を図るとともに、企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりを進める必要があります。				

飲酒

飲酒						
30	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の低下(%)【男性】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)	
㉞	13.0	男性	㉔	16.1	㉘	17.5
到達度	▲ 45.2		評価	D		
評価に係るコメント	中間実績値（17.5%）は、基準値（16.1%）から1.4ポイント増加しており、目標値（13.0%）に対する到達度は4割のマイナスと大きく後退しています。 ＜参考＞ 中間実績値（17.5%）を平成28年の性・人口構成で補正した値は17.5%となっています。					
今後の課題	多量飲酒のリスク（生活習慣病、アルコール依存症等の健康障害や社会問題）及び適正飲酒に関する啓発を強化するとともに、企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりを進める必要があります。					

飲酒						
30	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の低下(%)【女性】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)	
㉞	6.4	女性	㉔	7.5	㉘	9.6
到達度	▲ 190.9		評価	D		
評価に係るコメント	中間実績値（9.6%）は、基準値（7.5%）から2.1ポイント増加しており、目標値（6.4%）に対する到達度はマイナスと大きく後退しています。 ＜参考＞ 中間実績値（9.6%）を平成28年の性・人口構成で補正した値は9.5%となっています。					
今後の課題	多量飲酒のリスク（生活習慣病、アルコール依存症等の健康障害や社会問題）及び適正飲酒に関する啓発を強化するとともに、企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりを進める必要があります。					

飲酒						
31	未成年者の飲酒をなくす					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)	
㉞	0		㉔	2.6	㉘	0
到達度	100.0		評価	A		
評価に係るコメント	中間実績値は（0%）であり、すでに目標値に達しています。					
今後の課題	特に学校や地域との連携を密にし、未成年の飲酒が及ぼす健康への影響に関する普及啓発を強化する必要があります。 さらに、地域全体に「未成年には飲酒させない」という強い意識の醸成を図ることが必要です。					

飲酒	
32	妊婦の飲酒をなくす

目標値		区分	基準値		中間実績値 いわて健康データウエアハウス	
㉞	0		㉔	3.3	㉘	1.4

到達度	57.6	評価	A
評価に係るコメント	中間実績値（1.4%）は、基準値（3.3%）から1.9ポイント減少しており、目標値（0%）に対する到達度は５割以上と順調に改善しています。		
今後の課題	妊娠中や授乳中の飲酒は、妊婦だけでなく胎児や乳児の発育に大きな影響を及ぼすことを、引き続き啓発する必要があります。 さらに、地域全体に「妊婦には飲酒させない」という意識の醸成を図ることが必要です。		

喫煙

喫煙						
33	成人の喫煙率の低下(%)【全体】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)	
㉞	12.0	全体	㉔	18.9	㉘	18.3
到達度	8.7		評価	C		
評価に係るコメント	中間実績値（18.3%）は、基準値（18.9%）から0.6ポイント減少しており、目標値(12.0%）に対して約１割しか改善していない状況です。					
今後の課題	喫煙が及ぼす健康への影響に関する普及啓発の強化とともに、禁煙支援等の喫煙対策を推進していく必要があります。					

喫煙						
33	成人の喫煙率の低下(%)【男性】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)	
㉞	21.0	男性	㉔	34.0	㉘	27.0
到達度	53.8		評価	A		
評価に係るコメント	中間実績値（27.0%）は、基準値（34.0%）から7.0ポイント減少しており、目標値（21.0%）に対する到達度は５割と順調に改善しています。					
今後の課題	喫煙が及ぼす健康への影響に関する普及啓発の強化とともに、禁煙支援等の喫煙対策を推進していく必要があります。					

喫煙						
33	成人の喫煙率の低下(%)【女性】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)	
㉞	4.0	女性	㉔	5.9	㉘	11.0
到達度	▲ 268.4		評価	D		
評価に係るコメント	中間実績値（11.0%）は、基準値（5.9%）から5.1ポイント増加しており、目標値（4.0%）に対する到達度はマイナスと大きく後退しています。					
今後の課題	喫煙が及ぼす健康への影響、特に女性は妊娠時の胎児への影響が大きいこと等に関する普及啓発の強化とともに、禁煙支援等の喫煙対策を強化する必要があります。					

喫煙						
34	未成年者の喫煙をなくす					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)	
㉞	0		㉔	2.4	㉘	2.9
到達度	▲ 20.8		評価	D		
評価に係るコメント	中間実績値（2.9%）は、基準値（2.4%）から0.5ポイント増加しており、目標値（0%）に対する到達度は２割のマイナスと後退しています。					
今後の課題	未成年の喫煙が及ぼす健康への影響に関する普及啓発を強化する必要があります。 さらに、地域全体に「未成年には喫煙させない」という強い意識の醸成を図ることが必要です。					

喫煙						
35	妊娠中の喫煙をなくす					
目標値		区分	基準値		中間実績値 いわて健康データウエアハウス	
㉞	0		㉓	3.8	㉘	2.2
到達度	42.1		評価	B		
評価に係るコメント	中間実績値（2.2%）は、基準値（3.8%）から1.6ポイント減少しており、目標値（0%）に対する到達度は４割と改善しています。					
今後の課題	特に妊娠時の喫煙が胎児に及ぼす影響が大きいこと等に関する普及啓発を強化する必要があります。 さらに、地域全体に「未成年には喫煙させない」という強い意識の醸成を図ることが必要です。					

喫煙						
36	受動喫煙の機会を有する者の割合の低下【行政機関】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 健康国保課調べ	
㉞	0	行政機関(受動喫煙防止対策を実施していない行政機関)	㉔	5.2	㉘	4.1
到達度	21.2		評価	C		
評価に係るコメント	中間実績値（4.1%）は、基準値（5.2%）から1.1ポイント減少しており、目標値（0%）に対する到達度は２割とやや改善しています。					
今後の課題	能動喫煙より、受動喫煙による健康への影響が大きいことから、公共の空間における受動喫煙対策を強化する必要があります。					

喫煙						
36	受動喫煙の機会を有する者の割合の低下【医療機関】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 医療施設調査	
㉞	0	医療機関（受動喫煙防止対策を実施していない医療機関）	㉔	10.0	㉖	6.6
到達度	34.0		評価	B		
評価に係るコメント	中間実績値（6.6%）は、基準値（10.0%）から3.4ポイント減少しており、目標値（0%）に対する到達度は３割以上と改善しています。					
今後の課題	能動喫煙より、受動喫煙による健康への影響が大きく、特に疾病治療の観点からの社会的役割が大きい医療機関における受動喫煙対策を強化する必要があります。					

喫煙						
36	受動喫煙の機会を有する者の割合の低下【職場】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 企業・事業所行動調査	
㉜	0	職場（受動喫煙防止対策を実施していない職場）	㉔	37.6	㉘	36.6
到達度	2.7		評価	C		
評価に係るコメント	中間実績値（36.6%）は、基準値（37.6%）から1.0ポイントのみの減少となっており、目標値（0%）に対して僅かしか改善していない状況です。					
今後の課題	能動喫煙より、受動喫煙による健康への影響が大きく、1日の長時間を過ごす職場における受動喫煙対策を強化する必要があります。					

喫煙						
36	受動喫煙の機会を有する者の割合の低下【家庭】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（県民生活習慣状況調査）	
㉞	3.0	家庭	㉔	8.2	㉘	15.3
到達度	▲ 136.5		評価	D		
評価に係るコメント	中間実績値（15.3%）は、基準値（8.2%）から7.1ポイント増加しており、目標値（3.0%）に対しマイナスと大きく後退しています。					
今後の課題	能動喫煙より、受動喫煙による健康への影響が大きいこと等に関する普及啓発を強化する必要があります。					

喫煙						
36	受動喫煙の機会を有する者の割合の低下【飲食店】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)	
㉞	15.0	飲食店	㉔	54.8	㉘	40.1
到達度	36.9			評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値（40.1%）は、基準値（54.8%）から14.7ポイント減少しており、目標値（15.0%）に対する到達度は３割以上と改善しています。					
今後の課題	能動喫煙より、受動喫煙による健康への影響が大きいこと等に関する普及啓発を強化する必要があります。					

口腔

口腔					
37	3歳児でむし歯がある者の割合の低下(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 3歳児歯科健康診査結果集計
㉞	14		㉔	26.5	㉗ 22.4
到達度	32.8		評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値(22.4%)は、基準値(26.5%)から減少し、目標値(14%)に対する到達度は３割以上と改善しています。				
今後の課題	全国のむし歯有病者率は、同じ期間に19.1%（平成24年度）から17.0%（平成27年度）に低下し、全国と岩手県の割合の差も約５ポイントまで縮小していますが、平成27年度の状況は47都道府県の中で低い方から34番目となっており、乳幼児期のむし歯の予防をさらに推進することが必要です。				

口腔					
38	3歳児でむし歯のある者の割合が30%以上である市町村の減少(箇所)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 0
㉞	3			21(H21/23/24の3年分集計)	16(H24/25/26の3年分集計)
到達度	27.8		評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値（16市町村）は、基準値（21市町村）から減少し、目標値（３市町村）に対する到達度は３割弱と改善しています。				
今後の課題	むし歯有病者率が30%以上の16市町村のうち、12市町村は30%台前半ですが、30%台後半の２町と40%以上の２市については目標としている30%から数値が離れているため、乳幼児期のむし歯の予防をさらに推進する必要があります。				

口腔					
39	12歳児でむし歯がある者の割合の低下(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 公立学校定期健康診断結果集計
㉞	28.0		㉔	38.7	㉘ 33.0
到達度	53.3		評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（33.0%）は、基準値（38.7%）から減少し、目標値（28%）に対する到達度は５割以上と順調に改善しています。				
今後の課題	平成28年度の12歳児のむし歯有病状況について、全国値と比較が可能な「（永久歯＋乳歯）むし歯有病者率（%）」と「一人平均永久歯むし歯数（歯）」の指標でみると、全国の35.5%と0.84歯に比較して、本県は40.3%と0.97歯と悪い状況のため、学齢期のむし歯の予防をさらに推進する必要があります。				

口腔					
40	12歳児の一人平均むし歯数が1歯以上である市町村の減少(箇所)				
目標値		区分	基準値		中間実績値
㉞	6		22(H21/22/24の3年分集計)		0 19(H26/27/28の3年分集計)
到達度	18.8		評価	C	
評価に係るコメント	中間実績値（19市町村）は、基準値（22市町村）から減少し、目標値（６市町村）に対する到達度は２割弱の改善状況です。				
今後の課題	一人平均むし歯数が１歯以上の19市町村のうち、１歯台前半（1.0歯以上1.5歯未満）は９市町ですが、１歯台後半（1.5歯以上2.0歯未満）の７市町村と２歯以上の３市町村については目標としている１歯から数値が離れているため、学齢期のむし歯の予防をさらに推進する必要があります。				

口腔					
41	20・30歳代で歯肉に炎症所見がある者の割合の低下(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値
㉞	25.0		㉔ 30.8	㉘	県民生活習慣実態調査(歯科疾患実態調査) 37.5
到達度	▲ 115.5		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（37.5%）は、基準値（30.8%）から増加し、目標値（25%）から10ポイント以上も乖離するほど後退しています。				
今後の課題	高校卒業後から40歳未満の年齢では歯科健診を受ける機会が少なく、また、かかりつけ歯科医をもっている者が５割未満（他の年齢層は８割程度）と低いことから、歯周病の予防とかかりつけ歯科医をもつことの重要性を啓発していく必要があります。				

口腔					
42	40・50歳代で進行した歯周炎がある者の割合の低下(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値
㉞	44.0		㉔ 55.4	㉘	県民生活習慣実態調査(歯科疾患実態調査) 42.5
到達度	113.2		評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（42.5%）は、基準値（55.4%）から大きく減少し、目標値（44%）を上回るほど順調に改善しています。				
今後の課題	国の調査では平成25年から平成28年にかけて、すべての年齢層で進行した歯周炎のある者の割合が増加していることから、本県においては現在の状況が後退しないように、引き続き歯周病の予防と早期発見・早期治療の取組を進める必要があります。				

口腔					
43	30・40歳代で喪失歯がある者の割合の低下(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(歯科疾患実態調査)
㉞	25.0		㉔	44.9	㉘ 36.2
到達度	43.7		評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値（36.2%）は、基準値（44.9%）から減少し、目標値（25%）に対する到達度は４割以上と改善しています。				
今後の課題	高校卒業後から40歳未満の年齢では歯科健診を受ける機会が少なく、また、かかりつけ歯科医をもっている者が５割未満（他の年齢層は８割程度）と低いことから、むし歯及び歯周病の予防並びにかかりつけ歯科医での早期発見・早期治療を推進し、歯の喪失を防止する必要があります。				

口腔					
44	60歳代で進行した歯周炎がある者の割合の低下(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(歯科疾患実態調査)
㉞	53.0		㉔	64.2	㉘ 72.5
到達度	▲ 74.1		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（72.5%）は、基準値（64.2%）から増加し、目標値（53%）から約20ポイントも乖離するほど後退しています。				
今後の課題	歯周病の予防と早期発見・早期治療による取組を進めることが必要です。特に、市町村等での歯科健診やかかりつけ歯科医での定期健診を推進するとともに、かかりつけ歯科医での歯周病の早期治療と継続的管理につなげる取組が重要です。				

口腔					
45	60歳で24歯以上自分の歯を有する者の割合の向上(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(歯科疾患実態調査)
㉞	60.0		㉔	46.3	㉘ 65.6
到達度	140.9		評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（65.6%）は、基準値（46.3%）から大きく増加し、目標値（60%）を上回るほど順調に改善しています。				
今後の課題	国では6024達成者率70%を目標値に掲げて取組を進めていることから、本県においても6024達成者率のさらなる改善のため、歯の喪失防止に係る取組を推進する必要があります。				

口腔					
46	80歳で20歯以上自分の歯を有する者の割合の向上(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(歯科疾患実態調査)
㉞	40.0		㉔	21.3	㉘ 48.3
到達度	144.4		評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（48.3%）は、基準値（21.3%）から大幅に増加し、目標値（40%）を上回るほど順調に改善しています。				
今後の課題	国では8020達成者率50%を目標値に掲げて取組を進めていることから、本県においても8020達成者率のさらなる改善のため、歯の喪失防止に係る取組を推進する必要があります。				

口腔					
47	60歳代における咀嚼良好者の割合の向上(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(歯科疾患実態調査)
㉞	80.0		㉔	71.6	㉘ 72.4
到達度	9.5		評価	C	
評価に係るコメント	中間実績値（72.4%）は、基準値（71.6%）から僅かしか改善しておらず、目標値（80%）に対する到達度は約１割と低い状況です。				
今後の課題	残っている歯が咀嚼機能を十分に発揮できるように、むし歯や歯周炎等の予防と早期発見・早期治療による重症化防止の取組を進めることが必要です。また、咀嚼については、幼児期から「ゆっくりよく噛む」ことを促すなど、行動面からも咀嚼機能の維持・向上につながる取組を進めることが重要です。				

口腔					
48	成人期及び高齢期で定期的に歯科健康診査(検診)を受けている者の割合の向上(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（歯科疾患実態調査アンケート調査）
㉞	50.0		㉔	25.8	㉘ 41.3
到達度	64.0		評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（41.3%）は、基準値（25.8%）から約15ポイント増加しており、目標値（50%）に対する到達度は６割以上と順調に改善しています。 <参考> 基準値（25.8%）を平成24年の性・人口構成で補正した値は25.4%、また、中間値(41.3%)を平成28年の性・人口構成で補正した値は38.8%(平成24年の性・人口構成で補正した値は38.4%）と約13ポイント増加しており、大きく改善しています。				
今後の課題	40歳以上の歯科健診の受診率は40～50%ですが、20、30歳代の受診率は20%程度と低くなっていることから、この年齢層の歯科健診を促すことが必要です。				

こころの健康

こころの健康					
49	自殺者の減少（人口10万人当たり）				
目標値		区分	基準値		実績値　※H26評価 岩手県自殺対策アクションプラン
㉖	25.8		㉒	32.2	㉖ 26.6
到達度	87.5		評価	B	
評価に係るコメント	実績値（26.6）は、基準値（32.2）から5.6減少しており、目標値（25.8）に対する到達度は約９割と目標を達成することはできませんでした。（平成27年の死亡率は23.3と、さらに低下しています。） また、人口動態統計から計算した全国と岩手県の粗死亡率の差は、基準年である平成22年の8.8から、平成27年には4.9とその差を縮めています。				
今後の課題	岩手県自殺対策アクションプランと整合性を持ちながら、自殺対策やこころの健康づくりに取り組む必要があります。 ※岩手県自殺対策アクションプランを踏まえて目標を再設定します。				

こころの健康					
50	気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の低下(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 国民生活基礎調査
㉞	9.4		㉒	11.9	㉕ 12.3
到達度	▲ 16.0		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（12.3%）は、基準値（11.9%）から0.4ポイント増加しており、目標値に対する到達度は１割以上のマイナスと後退しています。				
今後の課題	引き続き、岩手県自殺対策アクションプランと整合性を持ちながら、自殺対策やこころの健康づくりに取り組む必要があります。				

こころの健康					
51	メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 企業・事業所行動調査
㉞	100		㉖	42.0	㉘ 44.3
到達度	4.0		評価	C	
評価に係るコメント	中間実績値（44.3%）は、基準値（42.0%）から2.3ポイントのみの増加となっており、目標値(100%）に対してほとんど進んでいない状況です。特に、従業者規模100人以上の事業所での実施割合（61.8%）と比較して従業者規模100人未満の事業所での実施割合（33.8%）は非常に低い状況です。				
今後の課題	本県は、50歳代男性、被雇用・勤め人に自殺が多い傾向であることから、労働関係機関・団体と連携した働きかけの強化や企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりを進める必要があります。特に、従業員数の少ない事業所での取組の増加が重要です。				

次世代の健康

次世代の健康					
52	朝食を毎日食べる子どもの割合の増加(%)【小学4年】				
目標値		区分	基準値	中間実績値 いわて健康データウエアハウス	
㉞	100	小学4年	㉔ 97.7	㉘	96.9
到達度	▲ 34.8		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（96.9%）は、基準値（97.7%）から0.8ポイント減少しており、目標値（100%）に対する到達度は３割以上のマイナスと後退しています。				
今後の課題	学校と連携した働きかけの強化とともに、地域や家庭における朝食摂食の習慣化を進める必要があります。				

次世代の健康					
52	朝食を毎日食べる子どもの割合の増加(%)【中学3年】				
目標値		区分	基準値	中間実績値 いわて健康データウエアハウス	
㉞	100	中学3年	㉔ 92.9	㉘	91.7
到達度	▲ 16.9		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（91.7%）は、基準値（92.9%）から1.2ポイント減少しており、目標値（100%）に対する到達度は１割以上のマイナスと後退しています。				
今後の課題	学校と連携した働きかけの強化とともに、地域や家庭における朝食摂食の習慣化を進める必要があります。				

次世代の健康					
52	朝食を毎日食べる子どもの割合の増加(%)【高校3年】				
目標値		区分	基準値	中間実績値 いわて健康データウエアハウス	
㉞	100	高校3年	㉔ 87.0	㉘	86.9
到達度	▲ 0.8		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（86.9%）は、基準値（87.0%）からほとんど変化しておらず、停滞しています。				
今後の課題	学校と連携した働きかけの強化とともに、地域や家庭における朝食摂食の習慣化を進める必要があります。 特に、これから迎える社会生活において欠食が習慣化しないよう改めての啓発が重要です。				

次世代の健康						
53	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加(%)【中学1年・男子】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 いわて健康データウエアハウス	
㉞	増加傾向へ	中学1年 男子	㉔	76.5	㉘	76.5
到達度	停滞			評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（76.5%）は、基準値（76.5%）から変化しておらず、停滞しています。					
今後の課題	引き続き、学校や家庭、地域等が連携して子どもの運動習慣の形成に努める必要があります。					

次世代の健康						
53	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加(%)【中学1年・女子】					
目標値		区分	基準値		中間実績値 いわて健康データウエアハウス	
㉞	増加傾向へ	中学1年 女子	㉔	53.8	㉘	56.7
到達度	増加			評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（56.7%）は、基準値（53.8%）から2.9ポイント増加しており、基準値から改善しています。					
今後の課題	引き続き、学校や家庭、地域等が連携して子どもの運動習慣の形成に努める必要があります。					

次世代の健康						
54	全出生数中の低出生体重児の割合の低下(%)					
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 人口動態統計	
㉖	減少傾向へ		㉔	9.3	㉖	9.7
到達度	増加			評価	D	
評価に係るコメント	実績値（9.2%）は、基準値（9.3%）から0.4ポイント増加し、目標を達成することはできませんでした。					
今後の課題	子どもの健やかな発育のため、引き続き、妊娠前・妊娠期の正しい生活習慣（適正体重、喫煙・飲酒防止等）の定着に向けた普及啓発や相談等の充実を図る必要があります。 ※健康日本21（第２次）と健やか親子21（第２次）を踏まえて目標を再設定します。					

次世代の健康						
55	肥満傾向にある子どもの割合の低下(%)【小学5年・男子】					
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 学校保健統計調査（文部科学省）	
㉖	減少傾向へ	小学5年男子	㉔	8.05	㉖	7.52
到達度	減少			評価	A	
評価に係るコメント	実績値（7.52%）は、基準値（8.05%）から0.53ポイント減少しており、基準値より僅かに改善しました。					
今後の課題	引き続き、学校と連携した働きかけの強化を進める必要があります。 ※健康日本21（第２次）と健やか親子21（第２次）を踏まえて目標を再設定します。					

次世代の健康						
55	肥満傾向にある子どもの割合の低下(%)【小学5年・女子】					
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 学校保健統計調査（文部科学省）	
㉖	減少傾向へ	小学5年女子	㉔	4.61	㉖	7.83
到達度	増加			評価	D	
評価に係るコメント	実績値（7.83%）は、基準値（4.61%）から3.22ポイント増加しており、基準値より後退しました。					
今後の課題	引き続き、学校と連携した働きかけの強化を進める必要があります。 ※健康日本21（第２次）と健やか親子21（第２次）を踏まえて目標を再設定します。					

次世代の健康						
55	肥満傾向にある子どもの割合の低下(%)【中学3年・男子】					
目標値		区分	基準値		実績値　※H29評価 学校保健統計調査（文部科学省）	
㉖	減少傾向へ	中学3年男子	㉔	6.47	㉖	5.34
到達度	減少			評価	A	
評価に係るコメント	実績値（5.34%）は、基準値（6.47%）から1.13ポイント減少しており、基準値より改善しました。					
今後の課題	引き続き、学校と連携した働きかけの強化を進める必要があります。 ※健康日本21（第２次）と健やか親子21（第２次）を踏まえて目標を再設定します。					

次世代の健康					
55	肥満傾向にある子どもの割合の低下(%)【中学3年・女子】				
目標値		区分	基準値	実績値　※H29評価 学校保健統計調査（文部科学省）	
㉖	減少傾向へ	中学3年女子	㉔ 3.97	㉖	3.86
到達度	減少		評価	A	
評価に係るコメント	実績値（3.86%）は、基準値（3.97%）から0.11ポイント減少しており、基準値より僅かに改善しました。				
今後の課題	引き続き、学校と連携した働きかけの強化を進める必要があります。 ※健康日本21（第２次）と健やか親子21（第２次）を踏まえて目標を再設定します。				

次世代の健康					
55	肥満傾向にある子どもの割合の低下(%)【高校3年・男子】				
目標値		区分	基準値	実績値　※H29評価 学校保健統計調査（文部科学省）	
㉖	減少傾向へ	高校3年男子	㉔ 6.84	㉖	8.56
到達度	増加		評価	D	
評価に係るコメント	実績値（8.56%）は、基準値（6.84%）から1.72ポイント増加しており、基準値より後退しました。				
今後の課題	引き続き、学校と連携した働きかけの強化を進める必要があります。 ※健康日本21（第２次）と健やか親子21（第２次）を踏まえて目標を再設定します。				

次世代の健康					
55	肥満傾向にある子どもの割合の低下(%)【高校3年・女子】				
目標値		区分	基準値	実績値　※H29評価 学校保健統計調査（文部科学省）	
㉖	減少傾向へ	高校3年女子	㉔ 5.71	㉖	4.50
到達度	減少		評価	A	
評価に係るコメント	実績値（4.50%）は、基準値（5.71%）から1.21ポイント減少しており、基準値より改善しました。				
今後の課題	引き続き、学校と連携した働きかけの強化を進める必要があります。 ※健康日本21（第２次）と健やか親子21（第２次）を踏まえて目標を再設定します。				

高齢者の健康					
56	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査（身体状況調査）
㉞	20.0		㉔	16.1	㉘ 11.0
到達度	目標限度数値以内		評価	A	
評価に係るコメント	中間実績値（11.0%）は、目標限度数値（20.0%）以内に抑制されているだけでなく、基準値（16.1%）から約5ポイント減少しています。				
今後の課題	引き続き、低栄養予防に関する働きかけを進める必要があります。				

高齢者の健康					
57	ロコモティブシンドロームを認知している県民の割合の増加(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)
㉞	80.0		㉔	21.3	㉘ 41.7
到達度	34.8		評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値（41.7%）は、基準値（21.3%）より20.4ポイント増加し、目標値（80.0%）への到達度は３割以上と改善しています。 <参考> 中間実績値（41.7%）を平成28年の性・人口構成で補正した値は40.7%となっています。				
今後の課題	引き続き、市町村や関係機関・団体と連携した普及啓発を図る必要があります。				

高齢者の健康					
58	市民活動に参加している60歳以上の者の割合の増加(%)【男性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活基本調査
㉞	60.0	男性	㉔	38.1	㉘ 35.5
到達度	▲ 11.9		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（35.5%）は、基準値（38.1%）より2.6ポイント減少しており、目標値（60.0%）への到達度は１割以上のマイナスと後退しています。				
今後の課題	引き続き、高齢者の社会参加を促すような環境を整備する必要があります。				

高齢者の健康					
58	市民活動に参加している60歳以上の者の割合の増加(%)【女性】				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活基本調査
㉞	50.0	女性	㉔	27.4	㉘ 24.4
到達度	▲ 13.3		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（24.4%）は、基準値（27.4%）より3.0ポイント減少しており、目標値（50.0%）への到達度は１割以上のマイナスと後退しています。				
今後の課題	引き続き、高齢者の社会参加を促すような環境を整備する必要があります。				

社会環境の整備

社会環境の整備					
59	居住地域でお互いに助け合っていると思う者の割合の向上(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 県民生活習慣実態調査(県民生活習慣状況調査)
㉞	73.0		㉔	57.0	㉘ 46.3
到達度	▲ 66.9		評価	D	
評価に係るコメント	中間実績値（46.3%）は、基準値（57.0%）から10.7ポイント減少しており、目標値（73.0%）への到達度は6割以上のマイナスと大きく後退しています。 <参考> 中間実績値(46.3%)を平成28年の性・人口構成で補正した値は42.3%となっている。				
今後の課題	地域のつながりを深めるため、子どもから高齢者に至る多様な年齢層による自助や共助を引き出す活動を進める必要があります。				

社会環境の整備					
60	健康や医療サービスに関係したボランティア活動をしている割合の向上(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 社会生活基本調査※次回調査H28（下記に出典変更）
㉞	25.0		㉓	2.9	—
到達度	—		評価	—	
評価に係るコメント					
今後の課題					

社会環境の整備					
60	健康や医療サービスに関係したボランティア活動をしている割合の向上(%)				
目標値		区分	基準値		中間実績値 国民健康栄養調査※国指標(上記から出典変更)
㉞	—		㉔	38.5	㉘ 35.8
到達度	—		評価	—	
評価に係るコメント	中間実績値（35.8%）は、基準値（38.5%）から2.7ポイント減少しています。 この目標項目は、計画策定後に、実態把握の方法が変更となったため、現時点で目標値は設定されていませんが、割合を向上させる目標である観点から、後退していることが推察されます。				
今後の課題	地域において健康づくりに主体的に関わる人材や団体への活動支援を継続する必要があります。				

社会環境の整備					
61	健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業数の増加(社)				
目標値		区分	基準値	中間実績値 県健康国保課調べ	
㉞	30		㉔ 3	㉘	10
到達度	25.9		評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値（10社）は、基準値（３社）から７社増加しており、目標値（30社）に対する到達度は25％超と増加しています。				
今後の課題	がん検診受診率向上プロジェクト協定や脳卒中・糖尿病などの生活習慣病予防に取り組む企業との協定の締結、企業の「健康経営」の取組推進等による従業員の健康づくりを進める必要があります。				

社会環境の整備					
62	健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数の増加(所)				
目標値		区分	基準値	中間実績値 県健康国保課調べ	
㉞	600		㉔ 313	㉗	392
到達度	27.5		評価	B	
評価に係るコメント	中間実績値（392か所）は、基準値（313か所）から79か所増加しており、目標値（600か所）に対する到達度は25％超と増加しています。				
今後の課題	健康に関する専門的知識を活かした相談や保健指導を機会を積極的に提供する関係団体等の増加を進める必要があります。				

震災津波					
63	市町村保健センターの復旧(新設)（市町村）				
目標値		区分	基準値	中間実績値 県健康国保課調べ	
㉞	4		㉔ 0	㉘	1
到達度	25.0		評価	B	
評価に係るコメント	基準値（０市町村）から中間実績値（１市町村）では１市町村増加しており、目標値（４市町村）への到達度は25％と復旧しています。				
今後の課題	地域における健康づくりの中枢である保健センターの復旧は、当該市町村の健康づくりを力強く進める機動力となることから、引き続き財政的支援も含めた市町村支援を継続し、市町村保健センターの復旧（新設）を推進する必要があります。				